

広島県中小企業団体中央会 2018年9月分情報連絡一覧表

食料品

●食料品

中国醤油醸造協同組合

9月の出荷量は前月比9.0%減少、前年同月比12.1%減少となり、売上高は前月比9.3%減少、前年同月比13.0%減少となった。

繊維・同製品

●衣服・その他の繊維製品

広島県アパレル工業組合

先月に引き続き空調服（電動ファン付作業服）の売れゆきが予想以上に好調である。

木材・木製品

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

<全国>

- ・平成30年8月の全国の住宅着工戸数は81,860戸で前年同月比1.6%増加
- ・季節調整済年率換算値では95.7万戸(前月比0.0%)
- ・利用関係別では、持家は24,420戸で前年同月比0.2%増加、貸家は35,457戸で前年同月比1.4%増加、分譲住宅は21,325戸で前年同月比2.9%増加
- ・木造住宅の着工数は47,010戸で前年同月比0.2%増加
- ・住宅着工の動向については、前年同月比で3か月振りの増加

<広島>

- ・広島県内の8月の着工戸数は1,638戸で前年比15.2%増加、このうち持家は457戸で前年比6.3%増加、貸家は718戸で前年比14.0%増加、分譲は339戸で前年比5.6%減少
- ・県全体の住宅着工動向は前年同月比で5か月振りの増加。地域別では広島市が着工戸数878戸で51.1%増加、呉市が59戸で0.0%、三原市が26戸で116.7%増加、三次市が34戸で240.0%増加、大竹市が127戸で337.9%増加となった一方、福山市は266戸で13.1%減少、東広島市は78戸で43.9%減少、廿日市市は17戸で77.3%減少、尾道市が18戸で64.7%減少と地域ごとにばらつきがある結果となった。
- ・相次ぐ台風や平成30年7月豪雨により市況は不安定で、全体として稼働は上向いているものの、予想ほど本格的な復興開始や需要活性化には達しておらず、今後の秋需に期待が高まっている。しかし、地域・企業で繁閑差も顕著であり、今後も災害多発の影響、秋需の動向をしっかりと注視していく必要がある。

広島県北部国産材加工協同組合

杭などの土木資材や仮設住宅向け材料は引き合いがあるが、価格帯が安いと、工場側の増産意欲は薄い。

平成30年7月豪雨の影響により丸太の出材量の減少が続いており、価格も高騰傾向にある。今後はいかに丸太を確保していくかが重要となってくる。

福山木材協同組合

例年秋からは忙しくなるが、今年は災害の影響による工期遅れによりあまり忙しさが感じられない。

印刷

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

今年は台風が多発しており、今後も季候変動に備え企業としてもBCPを作成するなどの備えが必要である。

業界では、首都圏の老舗印刷会社が事業譲渡されるなど大きな動きがあった。広島の印刷業界へは今のところ直接の影響はないが、将来的には県内企業においても同様の流れが起こることが懸念される。

化学・ゴム

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

先月から特に変化はない。

米中関係等により中期的には先行き不透明であり、安心して投資できる環境ではない。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

平成30年7月豪雨により、未だ正常な稼働状況には至っていない。自動車関連の売上は減少している。

円安と原油高が続き、今後の樹脂原材料の値上げを懸念している。

窯業・土石製品

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況(24工場)

30年9月 2,813m³ (前年比11.5%減少)

30年8月 2,413m³

29年9月 3,181m³

セメント価格の上昇等により、10月1日より1,000円/m³値上げし15,500円/m³へと価格改定。

一般機器

●一般機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合

今月は、自動車関連設備が好調であり、前月比41%増加、前年同月比10%増加となった。

出島工業会協同組合

先月同様、今月も平成30年7月豪雨の復興特需等により、売上はやや好況に推移している。

組合の課題としては、引き続き役員の高齢化と世代交代である。

電気機器

●電気機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合(電気機械器具)

今月は水害により製品在庫不足と資材、仕掛りの遅れが発生した。しかし、稼働日数が増えたため、前月比4.2%増加となった。前年同月比は20.1%減少であった。

輸送用機器

●輸送用機械器具(自動車)

東友会協同組合

組合員の業況は、ビジネス依存度の高い主要顧客(マツダ)の下記業況に比例している。

・9月の国内自動車販売台数は全需が485千台、前年同月比2.0%減少と3ヶ月振りの前年割れ。登録車は前年比3.1%減少と2ヶ月連続の前年割れ、軽自動車は前年同月比微増で3ヶ月連続の前年超え。マツダ車は3.8%減少と2ヶ月振りの前年割れ

・アメリカの8月の全需は1,482千台で前年同月比0.1%減少と2ヶ月連続の前年割れ。マツダ車も同0.1%減少と2ヶ月連続の前年割れ

・欧州の8月の全需は1,330千台で、前年同月比22.8%増加と5ヶ月連続の前年超え。マツダ車は同9.4%増加と2ヶ月連続の前年超え

・中国の8月の全需は2,228千台で、前年同月比1.7%増加。マツダ車は同12.7%減少と4ヶ月連続の前年割れ

・上記各地域の状況下、マツダ車の8月の海外販売合計台数は116千台、前年同月比2.7%増加と2ヶ月振りの前年超え

・マツダの8月の輸出動向については、輸出台数は前年比9.3%減少と2ヶ月連続の前年割れ

・マツダの8月の国内生産台数は、前年同月比7.1%減少と2ヶ月連続の前年割れ

●輸送用機械器具(造船)

中国地区造船協議会

平成30年9月の県内2,500総トン以上の船舶建造許可実績は4隻373,500総トン(前月1隻13,550総トン、前年同月2隻156,950総トン)であった。なお、このうち国内船が1隻で全て貨物船、輸出船は3隻で貨物船が1隻、油槽船が2隻である。

●輸送用機械器具(造船)

因島鉄工業団地協同組合

平成30年7月豪雨や台風等により鋼材の入荷遅れが発生した影響により、行程が若干混乱したが、回復しつつある。

(一社)中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化はない。

●輸送用機械器具(造船関連団地)

呉鉄工業団地協同組合

コンテナ船の受注が増加している。

卸売業

●卸売業(総合)

協同組合広島総合卸センター

平成30年7月豪雨の復旧長期化から、引き続き呉方面への物流関連事業者への影響が続いている。交通関連の復旧遅れもあり、従業員の出勤に影響が出ている。

最低賃金の上昇や近隣商業施設との人材獲得競争により中小企業はコストアップ、人手不足感も継続している。

ガソリンの高値安定から運搬費が増加し、収益を圧迫している。

「資材関連」においては、新設住宅着工件数が減少。公共工事の請負金額も減少傾向にある。復旧・復興需要は今のところはない。

「雑貨」においては、日用雑貨は販売店の被災から、売上が減少、加えて夏物衣料も低調に推移している。

「食品」においては、猛暑や豪雨の影響から外食産業の売上が減少している。

「繊維」においては、人件費の上昇から販売先小売店も含め繊維関連は厳しい。

協同組合福山卸センター

台風の襲来等による自然災害の多発により、消費が低迷している。

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

広島県の7月の着工状況は、前年比18.7%減少となった。内訳としては、持家5.7%減少、分譲28.3%減少、貸家18.4%減少と全体的に減少している。

平成30年7月豪雨により工場、事務所、家屋など多くの建物が浸水し、設備機器が使用不可となったことにより復旧需要が発生した。

●卸売業（家具）

リビズ株式会社

昨年に比べ、振替休日が1日多く売上増加を期待したが、月末の台風の影響で前年比変化なしとなった。

●卸売業（畳・敷物）

広島県藁製品商業協同組合

日本各地で畳表の展示会やキャンペーンが開催されている。売れゆきはそこそこで、活況を呈している感じが伝わってこない。消費の落ち込みが要因と思われる。

主産地の熊本では、稲刈りやポット苗の植え付け準備のため、製織はゆっくりの状態である。

広島県産は、受注、入用分を製織し、販売に繋げている。全体的に横ばいで推移している。中国産の表では、天候異変の影響もあり、草丈は若干短いものも多いようであるが、全体としては平年並みとみている。良品は強含みで推移している。

日本国内でも畳の消費拡大に向け努力を重ねているが、化学表やフローリング用の需要が増えるばかりで、い草を使った本来の畳の消費拡大には繋がらないというジレンマを抱えているのが業界の現状である。

小売業

●各種商品小売業

協同組合三次ショッピングセンター

台風の影響により商品が届かない日があり、売上に影響した。三次市内に影響はなかったが、客足は遠のき、客数、売上ともに減少した。

広島生鮮三品連絡協議会

北海道での地震、相次ぐ台風により青果・鮮魚の入荷や店頭販売が先月に続き低調であった。野菜相場・魚相場の高値傾向は当面の間継続の見通しである。景気回復の要因が見当たらず、景況感に明るさがない。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

今月の販売実績は前年同月比3.2%増加となった。商品別では、液晶テレビ前年同月比1.6%減少、冷蔵庫同1.1%増加、洗濯機同3.5%減少、IHクッキングヒーター同6.0%減少、電気温水器同8.3%増加、エアコン同9.1%増加となった。

●その他の小売業（燃料）

広島県石油商業組合

米国による経済制裁再開でイランからの供給先細りの懸念や主要産油国の増産見送り、リビアの非常事態宣言等により原油価格が高騰している。

商店街

●商店街（各種商品小売業）

呉本通商店街振興組合

店主の高齢化と後継者不在により、12月末で商店街内の老舗呉服店が廃業。

8月末に社長が急死したミシン店も後継者不在のため9月末で廃業し、商店街を脱退するなど、店主の高齢化や後継者不在による廃業が増加している。

広島金座街商店街振興組合

平成30年7月豪雨の影響により、ほぼ全店で売上は前年同月比減少となった。売上の回復が遅れている。カープ優勝セールに期待していたが、週末の台風により思うような売上に繋がっていない。

サービス業

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

各材料メーカーとも今後、材料費値上げの声が聞こえており、収益状況が悪化する見込みである。

建設業

●工事業

神辺建設業協同組合

平成30年7月豪雨による災害復旧に対する本格的な発注が見られ始め、今後も同様の案件の発注が続くとみられる。しかし、各社の受注能力にばらつきがあり、また施工業者や人員の確保が課題である。

今後も災害特需がしばらくは続きそうである。

福山地区電気工事業協同組合

今月の工事受注件数は、前月比9.0%増加、前年同月比13.3%減少となった。

電気保安人材の若手技術者の確保が業界の今後の課題であるが、解決策に即効性はなく、官民ともに問題意識を持って地道に取り組んでいく必要がある。

広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロスの3品目について、今月は平成30年7月豪雨の復旧需要の反動減により前月比23.5%減少となったが、前年同月比では63.2%増加、前年累計比も2.8%増加と、年度折り返しで前年累計比増増となった。

通常9月は完成物件が多いが、今月は災害の影響で竣工が遅れ、売上はやや鈍化した。

対前年比は増加しているが、昨年実績が例年に比べて悪かった。一昨年比では下落傾向にあり、見通しが立てづらい状況である。

運輸業

●道路貨物運送業

広島輸送ターミナル協同組合

今月は、台風による関西国際空港や湾岸等物流インフラが大きな影響を受けたことと、近畿圏のトラック事業者の被害の影響が広島から大阪間の物流に大きな影響を及ぼした。

米国の対イラン制裁を受け、燃料価格が高騰しており、収益を圧迫している。燃料代は運賃とは別途料金化する燃料サーチャージ制を一部運送業者にとどまらず、業界全体に広めていくため、法制化が望まれる。

●協同組合尾道地区総合トラックセンター

企業の生産や出荷が好調であったため、全体的に荷動きは堅調に推移した。

来月も引き続き原油価格の高騰、製品価格の上昇が続くと思われる。

松永地区トラック事業協同組合

9月の売上高及び貨物輸送量は、前年同月比変化なし。今月は連休が2回あったが稼働日数に変化はなく、売上にも影響はない。

深刻なのはドライバー不足で、新規採用をハローワークや広告等に掲載しても全く反応しない上に、転職していくドライバーに頭を悩ませている組合員もいる。更にはドライバーの高齢化も進んでおり、若手ドライバーの採用が出来なければ高齢者を継続雇用するしかないため、今後が見えない状態である。

収益状況は軽油価格の高騰により悪化している。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高年齢化が進んでいると同時に若年船員が育っていないため、船員不足である。

運賃、用船料の改善が見られない。

7月の貨物船内航輸送実績は、天候不順によりほぼ全ての輸送品目について減少し、前年比5%減少、前月比1%減少となった。

その他

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

今月の売上は、公的評価報酬の入金等があり前月比増加。前年同月比は特に大きな変化はない。

公的評価がさほど増えていない。新規業務受託を受けるべく各市町へ営業しているが、受注には至っていない。特に平成30年7月豪雨の被災市町では、予算が減少している。